

様式 A (介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書)

令和 4年 6月 9日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(依頼者)

〒103-0015

住所 東京都中央区日本橋箱崎町24-1

事業者名 株式会社シーエーシー

担当者所属 新規事業開発本部

担当者名 奈良祥生

電話番号 070-1582-3455

電子メールアドレス ynara@cac.co.jp

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要 (任意様式)
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類 (任意様式)
※) 実績がない場合は、提出不要

(本書類の取扱いと留意事項について)

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="radio"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

2. 依頼者（企業）の概要

企業名	株式会社シーエーシー	
担当者名	奈良 祥生	
担当者連絡先	住所	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1
	電話	070-1582-3455
	電子メールアドレス	ynara@cac.co.jp
主たる業種	システム構築サービス、システム運用管理サービス、BPOサービス	
主要な製品	表情感情分析アプリ「kokoro sensor」、ローコード開発基盤「AZAREA」 秘書業務効率化「Olive」、非接触心拍推定「リズムル」	
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input checked="" type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他	介護施設・病院向けの開発、普及活動はプライマル株式会社と実施しており、本事業の実施にあたっては同社と共同で行うものと致します。 住所 〒105-0014 事業者名 プライマル株式会社 担当者氏名 北尾 晟啓（きたお まさよし） 電話番号 070-4484-7629 電子メールアドレス kitao@primal-biz.co.jp	

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）	画像認識AIを活用した食事量チェックおよびデータ管理システム	
試作介護機器の有	試作介護機器の有無	1. 有 ・ 2. 無

<p>無及び機器のコンセプト（試作介護機器あれば写真を添付）</p>	<p>機器の目的及び特徴</p> <p>AI画像認識技術を用いた正確な食事量のチェックと電子データとしての記録</p> <p>介護職員の俗人的な目検およびデータ手動記録をシステム化／自動化することによる業務負荷軽減</p> <p>またLIFEやその他施設管理システム、レポート等へのデータ連携／アウトプットを支援することによる、労働環境改善への寄与</p>  <p>The diagram illustrates the system's workflow in three stages:</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事前・食事後をカメラで撮影 (Photograph before/after meal): Shows photos of food being taken. Below it, a box states "食事量チェックの手間を解消" (Eliminate the time for checking food intake). 電子データとして自動記録 (Automatic recording as electronic data): Shows a smartphone displaying a data entry screen. Below it, a box states "データ入力の手間を解消" (Eliminate the time for data entry). 電子データから各種アウトプット (Various outputs from electronic data): Shows three output options: <ul style="list-style-type: none"> 入居者情報の職員間連携 かかりつけ医への連携 (Staff collaboration of resident information, collaboration with primary care physician) 自治体/省庁向けデータ連携 介護加算報酬申請等 (Data collaboration for municipalities/provinces, nursing additional payment application, etc.) 入居者家族への報告書出力 電子媒体/紙媒体 (Report output to resident families, electronic/paper media) Below this section, a box states "各種データ連携／関係者報告／職員共有の手間を解消" (Eliminate the time for various data collaboration, reporting to related parties, and staff sharing).
<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>① 想定する使用者</p> <p>食事量をチェックされる方</p> <p>※介護職員（配膳、下膳を実施する方）、管理栄養士</p> <p>食事量チェック結果内容を院内／対外へアウトプットする業務を担当される方</p> <p>② 想定する使用場面</p> <p>朝、昼、夕の食事時に食事量をチェックする際、並びにデータ記録する際</p> <p>入居者の食事状況を職員間で共有、そのご家族へ報告、LIFE等へデータ連携する際</p> <p>③ 想定する使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用事前に必要な事前情報の登録（献立や入居者情報、システム利用者情報） ・食事前、食事後に写真撮影 → 食事量データが自動記録される ※食事後のみでの把握可否も検討中 ※タブレット等による撮影のほか、スキャニング装置を通じた自動撮影も検討 ・記録された食事量のサマリ・個別の閲覧／データ修正 ・職員間の引継ぎ時等の情報共有に向けたPDFや紙媒体への出力 ・情報記録ソフト、かかりつけ医へのデータ連携、入居者家族への報告書出力 等
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	<p>開発状況：構想・企画段階、試作機の作成検討段階</p> <p>課題：現場ニーズの把握（Must haveなニーズかどうか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事量把握に関連する詳細手順や職員の負荷状況、および課題の有無の把握 ⇒ 食事量把握、摂取状況に応じた入居者支援、関係各所への報告／連携等の詳細 ・設備／機器の在り様、機能仕様への具体的ニーズや制約の把握
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事管理の重要性 ・食事の提供方法／配膳方法／下膳方法 ※施設業務としての一連の流れ(CJM) ・介護職員が食事量をチェックされる対応の具体行動、その前後行動 ・入居者の配膳内容の写真撮影可否、および撮影可能な場所の有無 ※撮影の際の周囲への配慮等も踏まえて ・食事状況の把握のために、入居者様ごとに施設が管理すべきデータ項目内容 ・食事量の把握に求められる粒度／詳細度（期間、栄養素、カロリー量等） ・入居者様へ提供される食事内容の違い ・電子端末（ノートPC／タブレット／スマホ等）の職員様への提供範囲

	・施設内のWi-Fi等ネットワーク敷設状況
その他	・その他、ICT技術を用いた課題解消でご期待されているものをお聞きしたく

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。



株式会社シーエーシー

会社概要資料





1. 弊社紹介

1. 1. 「CACグループ」とは？

IT & ヘルスケアサービスを国内外で展開するグループです。

企業の経営課題などを解決するITサービスなどを提供しています。

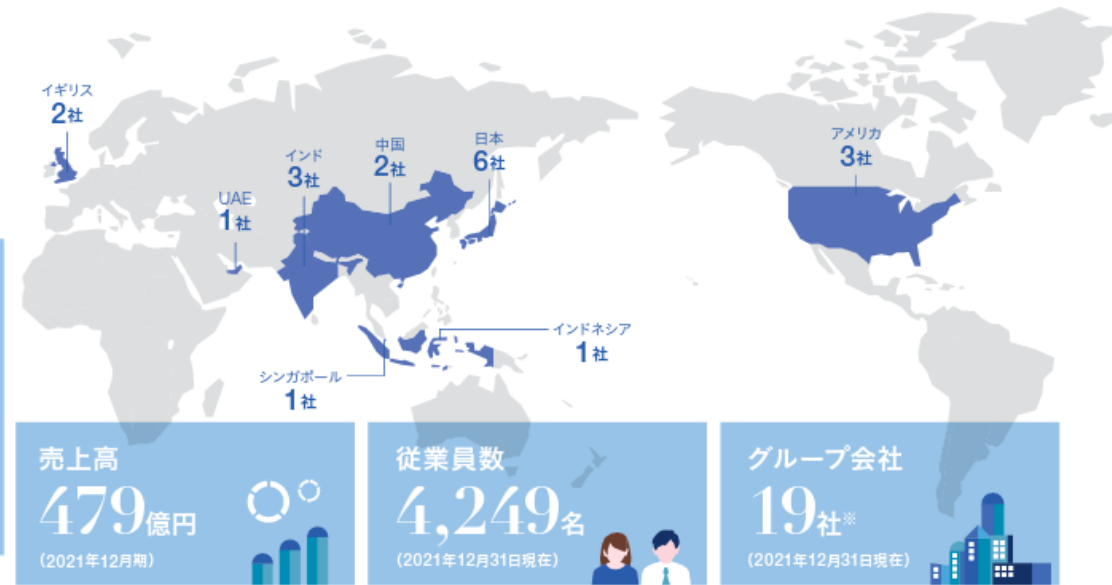
売上高は約500億円、従業員数は約4,000名、国内外にあるグループネットワークを活かし、グローバル事業を展開しています。

● 積極的なM&A

1994年、創業期に設立・出資した3社を合併し株式会社シーエーシーを発足。
東証一部に上場した2000年ごろからは積極的なM&Aによる成長をしてきました。
今後もM&Aを成長施策の一つとして継続していきます。



※2021年6月末 CRO事業会社を売却しました。



※CAC Holdingsおよび連結子会社

[参考URL]

<https://www.cac-holdings.com/company/pdf/corporateprofile.pdf>





1. 弊社紹介

1. 2. CAC Vison 2030

CAC Vision 2030

テクノロジーとアイデアで、 社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ

自らの仕事にプライドと責任を持ち、私たちは挑みます。

前例や先入観に囚われず、最先端の技術と独創的なアイデアを組み合わせ、
社会課題を解決していく。

ポジティブなインパクトを与え続けることで、
きっと社会は豊かになる。

私たちが変えていく、共感者とともに。

さあ、仕掛けよう。

Let's make an **i**mpact.

当社グループを取り巻く環境の変化が激しい中、
短期的な変動に左右されず、持続的な成長を実現するため
約10年後である2030年の

「ありたい姿」「向かうべき方向性」
として「CAC Vision 2030」を定めました。

このビジョンを共有することで、
CACグループのベクトルを統一します。

[参考URL]

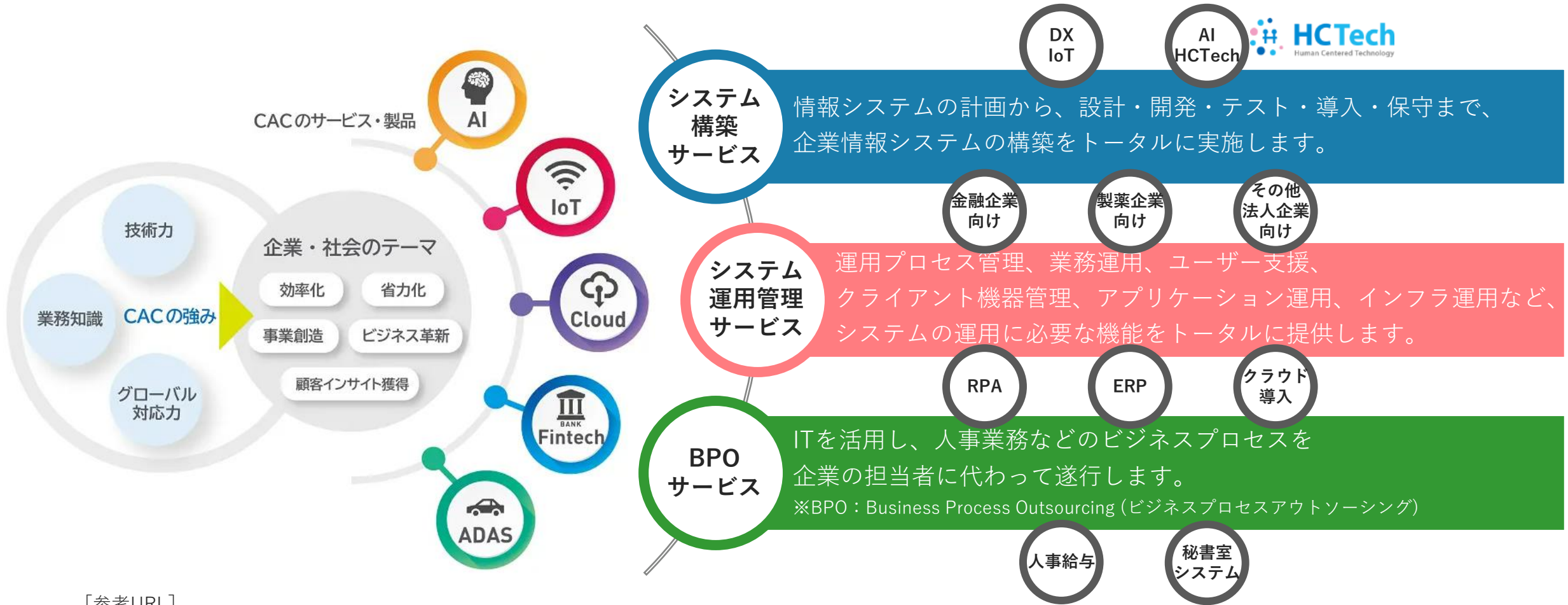
<https://www.cac-holdings.com/ir/glance.html>



1. 弊社紹介

1. 3. 「CAC」とは？

デジタルテクノロジーを用いて、世界をフィールドに、真に価値あるソリューションを提供します。



[参考URL]

<https://www.cac.co.jp/company/concept.html>

<https://www.cac.co.jp/company/business.html>



1. 弊社紹介

1. 4. 会社情報

【会社情報】

株式会社CAC Holdings	
社名	株式会社CAC Holdings (英文社名：CAC Holdings Corporation)
所在地	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1 TEL：(03) 6667-8001 (代表)
設立	1966年(昭和41年)8月8日
代表者	代表取締役社長 西森 良太
資本金	37億2百万円(2022年12月末)
連結売上高	479億71百万円(2022年12月期)
連結従業員数	4,367名(2022年12月末)
連結子会社数	20社(国内6社、海外14社) (2022年12月末)
事業内容	グループの経営戦略策定および経営管理
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード：4725)
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、 三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行

株式会社シーエーシー	
社名	株式会社シーエーシー (CAC) (英文社名：CAC Corporation)
所在地	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL. (03) 6667-8000 (代表) FAX. (03) 5641-3200
設立	2014年(平成26年)4月1日 ※持株会社体制へ移行、事業会社へ分社化
代表者	代表取締役社長 西森 良太
資本金	4億円
売上高	29,231百万円(2022年12月期)
従業員数	1128名(2022年12月31日現在)
事業内容	システム構築サービス システム運用管理サービス BPOサービス
主要加入団体	(一社) 情報サービス産業協会 (JISA) (一社) 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) (公社) 企業情報化協会 (IT協会)
認定(認証)、 資格など	プライバシーマーク制度 認定企業 (JIPDEC) ISMS 「JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)」 認証登録企業

